学校番号	309

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語表現Ⅱ	2	第３学年	標準英文法・語法問題１０００ いいずな書店 CLOVER　英文法・語法ランダム演習 数研出版

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英文法知識の総まとめを行います。これまでに行ってきた表現活動の中で使用してきた表現がどのような構造や文法のルールに基づいていたのかの精査を行います。より高度で実践的な演習活動が増えますので、予習・復習は絶対に行い文法の知識の深化を計ること。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅲ」（４単位）及び「英語表現Ⅱ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
①　与えられたテーマに対する簡単な説明を、2 分程度スタグネーションを全体の 4 割以下に抑えて行うことができる。 ②　与えられたテーマに対する自分の意見を順接、逆説、列挙や例の提示等を表す接続表現を用いながら 2 分間話すことができる。	コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅱで指導 ①　授業内で評価 ②　授業内で評価 スピーキングテストを実施しても評価する予定。	①　与えられた条件に沿った文章を、導入、本論、結論の構成を意識して 100 語程度で書くことができる。 ②　与えられたテーマに対する自分の意見を、導入、本論、結論、の構成を意識して 100 語程度で書くことができる。	英語表現Ⅱで指導 ①　授業内及び定期考査で評価 ②　授業内及び定期考査で評価
聞くこと		**読むこと**	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
①　少し長いモノローグやダイアローグを聴いて、その話が行われている場所や時間（年月日等）を的確に把握し、答えることができる。 ②　少し長モノローグやダイアローグを聴く時、その話の展開を推測しながらリスニングをして趣旨を把握し、的確に答えることができる。	コミュニケーション英語Ⅲで指導 ①　授業内及び定期考査で評価 ②　授業内及び定期考査で評価	①　80wpm のペースを維持して文章を読み切ることができる。 ②　パラグラフリーディングを行って全ての段落の要点を抑えることができる。 ③　スキミングを行って文章全体の内容を把握することができる。 ④　与えられた問いに対して①～③の技能を駆使して適切に解答することができる。	コミュニケーション英語Ⅲで指導 ①　授業内で評価 ②　授業内及び定期考査で評価 ③　授業内及び定期考査で評価 ④　定期考査で評価

3　学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	①　各授業内でのインタラクションやアクティビティへの参加態度 ②　各試験において取り組みの努力量が反映される設問を用意し、そこでの回答内容（記述内容や正解不正解等）から判断。	①　与えられた条件に見合った表現を用いて解答できているかを、授業内でのインタラクションやアクティビティ、各試験で判断。	①　与えられた文章を的確に読解し、筆者のメッセージや文法の知識を必要とする理解度確認問題を用いて判断。 ②　授業内でのインタラクションやアクティビティ、各試験の設問から判断。	①　言語の特性を理解しながら、場面に合わせた表現を考えて発話できる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
時制、態、助動詞、仮定法、不定詞、動名詞、分詞、比較、関係詞の用法、接続詞の用法、主語と動詞の一致、疑問文と語順、否定・強調・省略、時制の一致と話法 (各2時間)	時制、態、助動詞、仮定法、不定詞、動名詞、分詞、比較、関係詞の用法、接続詞の用法、主語と動詞の一致、疑問文と語順、否定・強調・省略、時制の一致と話法	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		コミュニケーションに関心を持ち，積極的に言語活動を行い，コミュニケーションを図ろうとする。	与えられた状況において，適切に話し，伝える。	「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。	授業内でのペアワークやグループワークを通じ、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションをはかろうとしているかで判断する。
		「外国語表現の能力」			
		英語で話したり書いたりして，情報や考えなどを適切に伝えている。	指定された文法表現を駆使して指定された日本語を適切に英語に直すことができる	自らの意見を，適切な表現を用いて伝えることができる。 学んだ文法・表現を使って，文を書くことができる。	ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		英語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。	指定された文法表現が使用された英語を読んで、正しくその意味を理解することができる。 ランダム問題集の問題に正しく解答することができる。	日本語を読んで、学習した文法表現を適切に当てはめて使用することができる	定期考査において、学習内容を問う問題を出題し、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		英語やその運用についての知識を身に付けているとともに，言語の背景にある文化などを理解している。	各文法が表現できるニュアンスを区別して、場面に合わせた表現方法が同じ英語でも英語では複数個あることを理解している	それぞれのページで学んだ文法・表現を理解し，知識として定着させている。	言語や使用場面と働きを意識した定期考査において出題し、知識が身についているかを判断する。